

第59号

# はこぞき新聞

発行者：  
箱崎環境対策協議会  
はこぞき新聞編集部  
中央区日本橋箱崎町34-8  
Tel 03-3667-5667  
協賛：  
日本橋法人会箱崎支部

平成29年9月1日発行

箱崎睦会HP  
箱崎町箱四町会HP

[http://www.geocities.jp/hakozaki\\_mutsumi/](http://www.geocities.jp/hakozaki_mutsumi/)  
<http://www.hakozaki4.cher-ish.net/>

## 連合渡御を終えて

今年は7月は猛暑、8月は梅雨めいた日々が続きましたが、当日は祭り日和となり、富岡八幡宮例大祭神輿連合渡御が無事終了出来たことは、ひとえに箱崎の皆様の御協力の賜物であると思います。

今回は今までにない遅い47番という駒番の中、昭和初期の華やかな印象の檜総彫り破風型屋根の素晴らしい立派な名神輿、他に類を見ない誇れる我が町の神輿を通じて老若男女がみんな一体となり「わっしょい」の掛け声が響き渡り、最後まで威勢よくがんばってくれました。担ぎ手、観客が一体となり感動に包まれ立派に継承され盛大に開催する事が出来ました。この感動は、次世代へと受け継がれていく事でしょう。

箱崎に生まれ育って前半世紀以上が経ち、一昔前と今では町も大きく様変わりし箱崎睦会でも若い新会員も増え活気に満ちています。

増淵祭典委員長はじめ、村松祭典実行委員長には、皆様への配慮など本当にお骨折りされたと思います。そして今年から箱崎睦会の会長に就任されました眞野勇志さん、過酷なスケジュールの中、精一杯リーダーシップを発揮しました。

古くから残るこの様な素晴らしい伝統文化を継承する事に若い睦会の方々をはじめ皆様には絶大なるご協力に心より御礼を申し上げます。

箱四以外の初代神輿総代として、これより後も先人達から引継いだ祭りとお活気溢れた箱崎の神輿を今後も守っていきます。この我が町、箱崎を更なる活気ある町へと発展させていきたいと思ひます。

次回の本祭は、東京オリンピックイヤーです。オリンピックに負けず劣らず、絆を強くして3年後の箱崎を「わっしょい」で盛り上げていきましょう！ 今から心待ちにしているところです。

神輿総代 石井利一



左から  
岩田総代  
石井総代  
大木総代  
村松  
祭典実行委員長  
福本総代  
宮田総代

## 箱崎宵の縁日

当日天候が定まらず直前まで箱崎川第二公園で実施するか判断に迷いましたが、日ごろの行いが良いのか、何とか天候も崩れず、また、大きな事故も無く、無事に開催することが出来ました。ご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。

開催当初、例年よりもお子様達の出足が早かった印象があり、早々にゲームコーナーが長蛇の列になってしまいました。また、ビンゴゲームも年々盛り上がりを見せており、開催側としては大変うれしく思いますが、番号が見にくかった点などがあつたかと思ひます。諸々反省し、来年は皆様がよりいっそう楽しめる縁日を運営できるよう頑張りたいと思ひますので、ご支援のほど宜しくお願い致します。

箱崎の夏祭り定番となっている日本橋演芸会さんによる「南京玉すだれ」、大江戸助六太鼓さんの「アトラクション演奏」は、場を大いに盛り上げてくれました。引き続き大江戸助六太鼓さんには盆踊り大会の太鼓演奏をお願いしましたが、途中小雨が降ってきて太鼓に影響が無かったか少々心配です。

生まれも育ちも箱崎の私としては、毎年お祭りの時に同級生に会えることが嬉しい瞬間でもあります。来年もお近くのお友達をお誘いのうえ、夏のひと時を楽しんで頂ければ幸いです。もし、運営側に興味がありましたら、ぜひとも各町会や睦会にご連絡ください。

最後に運営側に回って頂きました町会、婦人部、睦会の皆様ありがとうございました。

箱崎睦会副会長 竹内 大

## すずめ会と盆踊り

婦人部有志による踊りの会「すずめ会」は、夏は実に活発に動きます。

月に一度の稽古の場は和気あいあいと楽しいものながら、踊りを披露する機会の多い夏が近づいてくると、各々一段と熱が入ってきます。7月には週ごとの集中練習も行っていただいほどです。手や足の動きも合わせ綺麗に踊れるよう励みます。

今年も舞台は8月の「箱崎宵の縁日・盆踊り大会」「中央区大江戸まつり」となりました。

箱崎公園にて開催された盆踊り大会は夜7時から9時半まで、と長時間にわたりますが、活気あふれる大江戸助六太鼓さんの生演奏も贅沢な大会に、すずめ会の面々も、子どもから大人まで多くの踊り手さん達といっしょに愉しく踊り続けていました。

大江戸まつりでは、「チャンチキおけさ」と「大東京音頭」の2曲を披露。紹介のアナウンスの声を受けてつ檣に上がるのは緊張もしますが、皆で息を揃えて踊るのはとても気持

ちの良いものです。

祭りが終わっても、これからも愉しく踊れるよう、すずめ会は稽古に励んでいます。

すずめ会  
伊藤亜紀



大江戸まつり会場にて

8月10日（金） 神輿への御魂入れ



各町会神酒所開き



8月13日（日）  
富岡八幡宮・神輿連合渡御



↑ 赤半纏と警備 ↓



スカイツリーをバックに

箱崎北新堀



金棒引き、各神酒所へ挨拶



箱崎町箱四



8月11日（金）箱崎宵の縁日



料理、頑張ってます!!



冷たいドリンク、どうぞ



僕も太鼓叩いています



大江戸助六太鼓さん



すずめ会の皆さん



8月12日（土）  
神幸祭・鳳輦渡御



清め水を浴びる  
箱崎神輿

箱崎二・三



子供神輿の町内渡御



七部連合渡御



### 今年の金棒引き

三大祭りの大祭に金棒引きのリーダーとして初めて参加させて頂きました。

参加させて頂く際に金棒について調べようと思いましたが、意外にもどこを探してもネットにも正式なことは載っておらず、辿り着いた先は昔の祭りの文献でした。ちなみにネット上で『金棒』を検索すると…

- ・些細なことを大げさに触れ回る人のこと。
- ・金棒を突き鳴らしながら夜警する人のこと。
- ・頭部にいくつかの鉄の輪をつけた、長い杖のような鉄の棒。夜回りや行列の先頭に立つ者などが地面に突いて鳴らして歩く。

金棒の歴史は以下のような感じでした。

時代は元禄期、町人が台頭し天下祭りは急速に華やかなものになってきました。この頃から江戸三大祭りの一つの「深川富岡八幡」の祭礼も反映し始めてきました。その30年後から紀州からの将軍吉宗公が登場し大岡越前などの時代になり享保の改革で経済引き締めと江戸の町作りが始まり、多くの工事の人足が必要となりました。この大工や左官などの専門職とは違う資材などを運搬する労働者を『梃子(てこ)の者』『鳶(とび)の者』と呼ばれるようになっていきました。

その後、鳶は町の重要な火消としても活躍していくわけですが、その際に夜警や重要なお知らせ、人込みの整理をする際に割竹や鉄棒を使ったことでした。割竹や鉄棒は災厄を避け、浄める(清める)といった役割もあり、特に金棒の原型は「錫杖(しゃくじょう)」で密教の僧や山伏が聖域と印を結んだりする際に使う道具として知られており、鳶の者達はそれを祭礼に持ち込み神輿の先頭で露払いとしての浄めの役割をしたようです。

ちなみに牡丹の花を模した花の花笠をかぶっている方々もご覧になった方がいらっしゃるかと思いますが、昔は祭礼に参加する者の正装として「花笠をかぶっていない者は江戸城には入れない」というほどの決まりがあったそうです。花笠はその名残ということになりますね。

今回の金棒引きは初の試みで、神酒所や主要な所での挨拶(礼)をしようということになり、何年か経験している若い女性の方々を中心に歩き方、お辞儀の仕方、隊列の組み方などを打ち合わせし、練習を重ねました。皆さん、社会人、学生さんなど忙しく、おおよそ3時間くらいしか時間もなかったの

く仕上がり、金棒引きの女子の集中力と協力体制に感激いたしました。また当日は晴れたり曇ったりしていましたが大変暑く、その中、倒れそうになりながらも笑顔を絶やさず歩き、沿道からは“がんばれ～!” “綺麗だよ!”とお声がかかり、声がかかるたびに顔がほころび、疲れも飛びました。3年後は更に華やかに、そして艶やかに演出できたらと思っております。

またこの度、重い荷物を持ち10キロも共に歩いてサポートしてくださった方々やご指導してくださった方々、サインを出して下さった方々、お茶出しをして下さった方々…最後に金棒引きの一人一人に感謝を致します。ありがとうございました。

木村晃子

### 連合渡御を終えて ～赤半纏より～

いろんな不安はあったけれど最高の渡御が出来て本当に良かった。箱崎の神輿を真正面から見た光景は美しく格好良かった。最高の感動を得られて幸せでした。

眞野勇志

赤半纏を着させて頂いて3回目!最後に箱崎で神輿を下ろすと何事もなく終わって良かったと一気に体から力が抜け達成感でいっぱいになる。ここまでは過去2回と同じでしたが、翌日声が枯れて出なくなり、翌々日は身体の痛みがピークに…明らかに過去2回とは違う自分の身体!!今回は自分の年齢を再確認させられる連合渡御となりました。

渡邊健一

連合渡御が無事に終わり、町内渡御で神輿に肩を入れた時の快感!たまりませ～ん♪

宮島雅雄

今回の渡御が大きな事故なく遂行出来ましたことは、眞野会長はじめとする睦会会員皆様のお力添えなしでは、あり得なかったと思います。

誠にありがとうございました!!

永富啓三郎

今年の神輿はとても綺麗に運行できましたね。これも警備の皆さんのお蔭です。ありがとうございました!本当に箱崎の神輿は格好良くて最高です(^\_^)

竹内 大

水のシャワーがちょうど心地よく、渡御するには最適な天気にも恵まれたと思います。そのような中、警備や担ぎ手の皆さんと一体化し、元気に楽しく神輿を巡行させ、無事に赤半纏の任務を終えられホッとしています。充実感一杯、とても記憶に残る連合渡御となりました。ありがとうございました。

皆川慎介

初めての赤半纏での祭で、余裕なく、回りの景色があまり見れませんでした。しかし、水に濡れた綺麗な神輿と一体化して祭に参加でき、感無量でした。完璧とは言えないものの、無事に任務終えて良かった。

白崎敏孝

緊張の初赤半纏、神輿と共に無事に箱崎に帰ってこれて良かった!

でも、ノドと腰と足に疲労が蓄積中です。

今でも皆さんのワッショイの掛け声、笛の音が心の中に鳴り響いています。

会田 潔

### 七部会連合渡御

この夏の祭典行事の一つの目玉が、七部会の連合渡御への参加です。今までは他の行事との兼ね合いから参加を見合わせていました。「箱崎宵の縁日」の開催で時間の都合が付いたことで、参加が実現しました。

8月12日(土)の午後、七部会8町会の神輿が箱崎公園脇の道路に集結、出発セレモニーの後にいよいよ渡御が始まります。

箱崎町からは主に箱崎睦会の面々が参加したのですが、担いだのは箱四の子供神輿です。さすがに大神輿を担ぐには人数が足りません。ほぼ同じ時間帯に、箱北の子供神輿が町内渡御していますので、子供たちの元気に負けないよう、睦会員も威勢良く「差し」「揉み」などを取り混ぜて新川方面へ向かいました。

新川の神輿には女性も多く参加していましたが、箱崎町からは男性ばかり。今回は男女問わず参加していただければと思います。

箱崎睦会広報 会田 潔



箱崎公園を出発

## 箱崎から世界チャンピオン Rush ∞ Ace ダブルダッチ世界大会優勝

ダブルダッチと言う競技をご存じですか？ 2本のロープを使った縄跳びの競技です。向かい合ったロープの回し手（ターナー）2人が回すロープの中を、ジャンパーと呼ばれる1～2人の跳び手（ジャンパー）が様々な技を交えて跳ぶのです。

Rush ∞ Ace（ラッシュエース）は有馬小学校時代に結成された同級生8人チーム、その中から現在は日本橋中学校に通う箱崎町在住の3人の選手たちがはこぎき新聞の取材に応じてくれました。

8人チームのうち3人がシングル部門（ターナー2人、ジャンパー1人）、4人がダブルス部門（ターナー2人、ジャンパー2人）で世界大会出場です。

競技種目には「規定」「スピード」「フリースタイル」の3種があり、それぞれ規定演技、跳ぶ回数を競う、自由演技を行い合計点を競います。技は、バック転、側宙（側転で地面に手をつかない）、シャー（ターナーとジャンパーが入れ替わりながら跳ぶ）、A面（縄を持ちながら回る）と高度なものばかり。

江東区内の体育館で行われた国内予選で基準点を越えたことで国際大会への出場キップを獲得。今年6月にアメリカ・サウスカロライナ州で開催されたアメリカンダブルダッチリーグ

(ADDL)の世界大会へ出場しました。競技は学年単位で競われ、Rush ∞ Aceは中学1年の部門での出場です。

中1部門は15チームの出場で、まず予選2回を勝ち抜き。そして6月10日の決勝戦に残ったのは5チーム。会場内はアメリカ人特有の大声援に圧倒されつつも、同行した日本人選手団の50名が応援してくれる中で演技を行いました。

緊張の結果発表は、下位チームからチーム名が呼ばれる方式。名前を呼ばれたら、会場を去らなくてはなりません。演技は大きなミスがあり、ドキドキしながら発表を聞いていたそうです。しかし、結果は見事に優勝です。まさか優勝できるとは思っていなかったのととても驚きました、と選手たちは笑顔で話してくれました。

しかも、シングルのチームはフリースタイルで日本新記録、ダブルスはスピード回数と総合点で日本新記録をマークするなどの堂々たる成績での優勝だったそうです。

Rush ∞ Ace  
おめでとう！

今回、8月に開かれる国内大会に向けて練習中のところを取材に応じてくれました。ありがとうございました。これからの活躍も期待しています。

はこぎき新聞編集部



写真左から島萌花さん(シングル部門)  
渡邊沙来さん、神谷美冬さん  
(ダブルス部門)

## 隅田川河畔ビール祭り

梅雨が明けて暑さが増し、真夏の青い空が眩しい7月20日に「隅田川河畔ビール祭り」が開催されました。アウトサイドでのビアパーティーということで、蒸し暑いイメージがありましたが、川沿いということもあり心地よい風の中での涼やかな宴となりました。

箱崎三町会の町会長、中央区副区長、箱崎陸会会長の挨拶で一気に始まり、近隣の会社にお勤めの方達や、町内の方々にいつしか隅田川テラスは埋め尽くされました。普段の疲れを一気に吹き飛ばすように真夏の宴ははじまりました。

マウナケアスターズさん率いるハワイアンバンドの生の音色の中、美しいハワイアンダンス（カサブランカさん）を堪能しつつ、2時間という時間もあっという間に過ぎ去りました。

今回開催にあたりご協力いただきました皆様方、ありがとうございました。

永里智恵美



ライトアップされた永代橋をバックに

## 手作り鯉のぼり

4/22(土)、箱崎公園にて恒例の鯉のぼり作成を行いました。

当日は有馬小学校の学校公開日と重なっていたため、不安はありました。

「子供達が集まるか？」ドキドキしながら集合時間が近づきます。

スタッフが心配する中、今年も多くの子供達が続々と集まってくれました！ 12時15分に4時間目が終わり、大急ぎで駆けつけてくれたのでしょうか。まだ制服の子供も居ました。「昼ごはんは食べたの？」と思わず聞いてしまいます。

午前中に授業を受けてもなんのその。箱崎の子供達は元気です。マジックを手に取り、皆それぞれ思い思いの絵を描き始めました。お母さんに手伝ってもらったり、兄弟と一緒に描いたり。用意した真っ白な鯉は瞬く間に色鮮やかになっていきます。

雨に濡れたり日光に当たったりすると、油性マジックといえど色が褪せてしまいます。自分と他の子の鯉が区別出来なくなってしまうため、子供達やお母さん達に色濃く描くようにアドバイスします。大半の子供は聞いてませんが（笑）。

最後まで頑張っていた子の鯉のぼりを付けて全て完了。事前に設置していた大きな鯉と合わせ、計70尾を超える鯉のぼりが箱崎公園の空に泳ぎました。子供達のおかげで翌日のチャリティーフリーマーケットは賑やかな雰囲気を実施することが出来ました。来年は同日開催でより賑やかにしてもいいかな、とも考えています。

鯉のぼりの設置にあたりご協力いただいた近隣の皆様、鯉のぼりが落ちていると教えていただいた方々。ご近所の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

イベント部 川崎 亮



手作り  
中！鯉のぼり



公園に飾りました。

## フリーマーケットを終えて

第7回目となるチャリティフリーマーケットでは、責任者として初めて臨み、沢山の貴重な経験をさせていただきました。

年明け早々から約3ヶ月間、様々な構想を経て打ち合わせを行いました。

出店者が集まらなかったため各方面への声かけを行ったり、ネット環境を利用しての募集など、新たな取り組みが功を奏して何とか形になるイベントを開催するに至りました。心配していた当日の朝は、幸いなことに好天に恵まれました。

その背景には陸会役員、会員各位、町会の皆様方のご協力があってこそだと思います。一つのイベントを運営するためには、チームワークと連携が大切だと言う事を思い出させてくれました。

チャリティフリーマーケット本来の目的、実施する意味を忘れないよう、また東日本大震災の悲惨な記憶を風化させないよう、今後も継続して被災地に貢献できるように私も主催者として、また出店者としてできる限りの事をしていけたらと思います。

出店者の方達や、買い物に足を運んで下さる方々に楽しんで頂ける、そしてチャリティフリーマーケットの意義が伝わる、箱崎陸会らしいオリジナリティのあるイベントになれば良いと思います。

最後に、今回責任者として一緒に組んで頂いた川崎さんに感謝申し上げます。もちろん渡邊さんにも…。

義援金金額：

石巻へ 101,053円 熊本へ 15,460円

箱崎陸会 白石政博



### 日本橋三の部 地区委員会バスハイク

今回のバスハイクのテーマは、潮干狩り（千葉・富津海岸）と葛西臨海水族園の見学です。6月25日（日）の朝は小雨が降っていましたが、人形町大通りに135名が集合しました。バス3台に振り分けて、一路潮干狩りに向かい

ました。しかし、雨は降ったり止んだり、潮干狩りができるかどうかの微妙な空模様です。役員の判断はやる事に決定！

現地に着く頃には雨も小降りになり、貝堀に夢中！ 多少なりともアサリの姿も見え始め、2kg入りの網の中も一杯になりました。



捕  
ア  
れ  
サ  
た  
り  
か  
な

やがて昼食の時間を迎えました。再びバスで一路東京に向かいます。ホテルサンルート有明にて食事（バイキング）です。ゆっくりの時間で皆さん満足した後は、水族園の見学です。見所はやっぱりマグロの回遊！ 迫力満点でした。

水族園を後にする頃には、雨は上がっていました。人形町へ向けて出発し、午後5時には解散となりました。雨には降られましたけど、事故などなく解散できた事は本当によかったです！

皆様、また参加してください。お待ちしております。

日本橋三の部地区委員 竹門榮一



葛西臨海水族園のマグロ回遊水槽

### 第三分団準優勝 日本橋消防団ポンプ操法大会

去る6月4日に行われた、日本橋消防団ポンプ操法大会について書かせていただきます。

大会は毎年6月に行われ、日本橋消防団の7分団全てが出場するポンプ操法の技術を競います。消防団の行うポンプ操法にはいくつか種類がありますが、日本橋消防団が大会で行うポンプ操法は可搬ポンプ操法です。これは都市部の消防団で行われ、可搬台車という手押しで移動できる台車にポンプを載せ、水槽の近くに設置します。吸い上げた水を63mと83m先の的に当てる競技です。

採点は、水が的に当たるまでの時間と、各団員の行動や動作が安全に行われているかを減点方式で評価します。時間は、これ以上速くても加点にはならないタイムとして設定された基準時間より遅れた秒数を1秒1点として計算

します。

出場する選手は指揮者、1番員から4番員、補助員の計6名となります。各選手の役割を説明すると、1番員は一番ひと目に付くホースの先端を操り、スピードと行動動作が問われます。2番員は全てのホースをつなぎ放水の初めと終わりを伝令する役目で、とにかくスピードが問われます。3番員は各番手の補助に回ったり、多くの器具を扱うため行動動作の正確さが問われます。4番員はポンプを扱い送水を行うため、状況判断力が問われます。指揮者は各番手を指揮する精神的支柱であり、補助員は水槽からポンプへの給水の補助と器具収納を行います。

箱崎町、蛸殻町、及び小網町が所属する第三分団の今年の出場選手の紹介をさせていただきます。指揮者は三分団のレジェンド 小笠原宣夫選手！ 1番員は大谷ターンの発案者 大谷美香子選手！ 2番員は限界を突破した鬼神の走り 赤塚一志選手！ 3番員は技術の向上が著しい 堀田弥生選手！ 4番員は森口貴央！ 補助員は経験豊富で熟練の大島敏夫選手！ 以上最強の布陣で大会に挑みました！



訓練を通じて各選手の行動動作も上達し、良いタイムも出ており、良い結果が期待できるものでした。

そして大会の結果は、1位と7点差の準優勝でした。優勝分団とはタイムでは1秒早かったのですが、8点の行動動作減点の差がありました。私は4番員として個人賞を受賞することができましたが、水の送りが荒くなってしまったことが反省点です。

消防団活動におけるポンプ操法は、訓練を通じて消防の器具に最も多く触れることができ、団員間で技術を切磋琢磨することができる機会です。さらに、地域の皆様に応援頂けると団員一同大変励みになります。箱崎の皆様におかれましてもぜひ大会に足を運んでいただければと思います。また、平日の夜2回と日曜日の朝の週3回、箱崎町内で訓練を行っておりますので、お気軽にお声をかけて頂けるとありがたいです。今後はポンプ操法大会がより一層、地域の皆様と消防団の交流を深めることができる機会になれるよう願っております。

日本橋消防団第三分団 森口貴央

## 箱崎町のお店紹介

ぼえむ日本橋店の紹介です。  
昭和41年創業のコーヒー専門店ぼえむ（本店）は、オリジナルのコーヒーフィルターを用いてご注文の都度、一杯一杯まごころをこめて調製し新鮮な香りと豊かな風味のコーヒーを味わっていただくお店です。

コーヒーのメニューは100種類とバラエティに富み、おいしさだけでなくコーヒーの楽しみ方も提供しています。手づくりのコーヒー豆やコーヒー器具の売店を併設し、ご家庭でも手軽に専門店の味を楽しむことができます。

コーヒーの本来のおいしさをお客様に提供するために、コーヒー生豆は契約農家から直接輸入したり、専門商社から、ぼえむの味づくりにあう生豆を厳選しているそうです。そして、その生豆を高知の熟練職人たちの工場で職人の腕が最も発揮できる小釜の直火焙煎機を使い焙煎。その熟練した技術とコーヒー豆の知識を駆使し焙煎されたコーヒー豆は2日後にはお店へ。鮮度が高く香り高いコーヒーを楽しむことができます。

ランチタイムはいつも満席！ ぼえむ歴40年近いベテラン夫婦が切り盛りされています。ほんのり江戸前の香りのする!?美味しいコーヒーと人情と…。忙しい仕事の合間にほっと一息付ける瞬間です。

窓際の席に座ると、運が良ければ、メジロやスズメ、鶉などの鳥が餌箱の餌や水を飲みに来ており、都会のど真ん中で一時のオアシスのような安らぎの空間を味わうことができますよ。

はこぎき新聞編集部



箱崎町18-2  
電話 03-3666-4700  
営業10:00~17:00ごろ  
土日祝日休業



## 箱崎診療所開設

はじめまして。昨年10月から箱崎町に診療所を開設した箱崎診療所の柳澤と申します。今回診療所案内の依頼を頂きましたので、簡単ではありますが自己紹介を兼ねて案内致します。

私は生まれも育ちも群馬県（高崎市）で、都内の医大に進学し、大学卒業後は主に地元で病院勤務をしていました。その後大学院進学を契機に上京し、診療の傍ら臨床的な研究（川崎病という病気に関する研究です）をしていました。そして大学院卒業後は、日本橋を拠点に生活していたこともあり、日本橋に開業する運びとなりました。

当診療所の診療科目は小児科・内科・予防接種・産業医になります。専門は小児科ですが（中でも少し詳しいのは先天性心疾患等の循環器です）、内科も可能な範囲で対応致しますので、急な症状でお困りの際にはご相談下さい。予防接種は小児だけでなく、大人や海外渡航に必要なワクチン接種も

行なっています。また嘱託産業医の受託も行っておりますので、新たに産業医の任命が必要になった等あればご相談下さい。

診療時間ですが、昼間は他の医療機関で勤務しているため平日の19時から22時の3時間、夜間帯のみの診療となります。

現状は受付事務（姉）と二人で運営しているため、行き届かない点が多々あると思いますが、気軽に受診できる診療所を作って行きたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。



箱崎町32-9 イノコビル1F  
電話 03-6661-6688

## 区議便り

○新しい「中央区基本構想」決定  
「中央区基本構想」が平成29年6月の第2回定例会で可決し決定いたしました。

新しい基本構想は、すべての人々が幸せを実感し誇りを持てる都心「中央区」を目指して、「輝く未来へ橋をかける――

人が集まる粋なまち」を10年後の将来像と掲げ、実現に向けた方向性などをまとめ示しています。この将来像を実現すべく具体的な施策を10年間の「基本計画」として策定していきます。

○人形町おとしより相談センター設置と新しい保育所の開設支援

第2回定例会では約1億7千万円の補正予算が可決し平成29年度一般会計予算は約955億円となりました。本年度は、急激な人口増加や東京2020大会と開催後のまちづくり、更には将来20万都市を視野に学校、保育所、高齢者施設の施設整備などに重点を置いています。

おとしより相談センターは、高齢の方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう相談をお受けしています。日本橋おとしより相談センターは小伝馬町にございますが、人形町にもできることで、相談体制の充実が図られると期待します。この秋に開設する予定です。

また、来年の春には、蛸殻町二丁目、予定定員156名の新たな私立認可保育所が開設される予定です。本区の待機児童数は本年4月時点で324人、待機児童解消に向けて保育施設の整備をすすめております。

○スポーツ推進ビジョン

本区は2020東京大会を機として「スポーツ推進ビジョン」を策定し「誰もがスポーツを楽しみ、人と地域が輝くまち」という基本理念のもと、スポーツを幅広く捉えて、スポーツを通して健康づくり、介護予防、レクリエーションとして親子、多世代、地域の人々の交流など、スポーツの持つ力を積極的に生かしていこうとしています。

箱崎睦会主催のソフトボール・バーベキュー大会はまさにそのお手本と言えますが、グラウンドの確保が難しいという現状については中央区の大きな課題です。スポーツができる場の確保・整備について引き続き努力していきたいと思っております。

○民泊について

マンションの民泊についての苦情や相談が増えています。旅館業法の許可を受けずに宿泊サービスを提供することは違法であり、マンション管理規約で禁止することは防衛策になります。議会においても取り上げられています。安心安全な住環境を確保するためにご意見等お聞かせください。

中央区区議 染谷真人

## 箱崎町の防災体制について

毎年9月1日は「防災の日」です。この日を含む一週間が「防災週間」です。1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災にちなんで制定されました。東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨は、記憶に新しい災害です。皆さまのご家庭では、防災対策を行っていますか？

箱崎町三町会でも様々な防災体制を整えています。非常食の用意、定期的な防災訓練の実施、関係機関との連絡体制などです。発生が予想されている東海地震や首都直下型地震に備えて、私達はどのような体制を整えれば良いのでしょうか？

箱崎町三町会では、定期的に、またテーマを決めて防災訓練を実施しています。今年3月12日には日本橋消防署のご協力により、担架の使い方講習を開催しました。停電でエレベーターが使用不能になることを想定した非常階段を使っての搬出訓練、けが人を防災拠点まで運び出すまでの注意点を学びました。過去には夜間に災害が発生したことを想定した夜間防災訓練も実施しました。発電機を稼働してバルーン照明を点灯させ、周囲が真っ暗な状況下でも災害拠点を立ち上げ、炊き出しが可能な環境を整えました。



さて、実際に大地震が発生した場合、私たちはどのような行動を取るのでしょうか？ 箱崎町内の住居の多くが鉄筋コンクリートのマンションで、地震に強い構造です。また、東京都の被害想定によれば、中央区は大規模延焼火災の可能性が殆ど無い地域です。このことから、災害発生後に自宅での生活が可能で危険がなければ、可能な限り自宅に留まってください。なお、災害に備えて、最低3日分の非常食と飲料水を各家庭で用意しておく必要があります。

しかしながら、自宅の倒壊や焼失により自宅での生活が困難になったときは、どこへ避難するのでしょうか？ 災害発生時、箱崎町三町会では箱崎公園に防災拠点を構築します。町会の役員が中心となり、拠点となるテント建て、被災者名簿の作成作業を行います。さらに、町会員の安否確認を行い、必要に応じて救助に向かいます。治療が必要なけが人、病人がいる場合には、有馬小学校内の防災拠点へ連絡を取ります。

有馬小学校が防災拠点ならば、有馬小学校へ避難することはできないのか？

### 就任のご挨拶

この度、箱崎睦会の第4代目会長を拝命致しました、箱四町会の眞野勇志と申します。この大役を本祭りの年に受け継ぐ事で尋常ではない緊張感と責任の重さを痛感しております。会計担当として6年、副会長として4年この睦会役員として活動してきた経験を生かして歴代会長に恥じぬような会にしていきたいと思っておりますので、今後どうぞ宜しくお願い致します。

箱崎睦会も会員数も現在50名となりました。ただ、お祭りを始めとする様々な行事をこなしていく上で会員数を増やす事はもちろん、将来的な事を見据えると、若い世代の入会も急務となります。課題は山積みですが一歩ずつクリアしながら前進していきたいと思っております。

確かに有馬小学校は避難場所に指定されていますが、収容可能な人数が限られています。安全な生活が可能な場合は自宅へ留まることが推奨されています。

町会では、非常備蓄品として500食の非常食を備えています。また企業との連携体制により、平日昼間に発生した災害に対しては日本IBM本社ビルへの一時避難が可能となっています。なお、水天宮ピットは、帰宅困難者向けの一時滞在施設に指定されています。

ところで、中央区制定の地域防災計画書によれば、東京湾北部地震（想定マグニチュードは7.3）による予想震度は6強、最大の津波の高さは約2mです（到達時間は3～7分）。この予想値に対し、隅田川テラスに沿って建てられた堤防は7mの津波・高潮に耐えられるそうです。ただし、隅田川テラスを散歩している時に大きな揺れを感じた場合は、すぐに堤防の外へ避難してください。

昨今のゲリラ豪雨に備えた対策として、洪水ハザードマップが中央区ホームページに用意されています。豪雨時には箱崎町内でも1m未満の水位が予想されている地域があります。ぜひ一度、確認してみてください。

災害発生時は、何よりも正確な情報の入手が必要不可欠です。中央区に関する災害情報等については、防災行政無線や緊急告知ラジオを通じて情報が提供されます。

防災対策は、東京都、中央区、箱崎町三町会、そして住民の皆さまの連携が必要不可欠です。普段、町会の活動にはあまり関心の無い方もいらっしゃると思います。災害発生時、周りは知らない顔ばかりで不安になった、などと言う事が起きないとも限りません。防災訓練などの行事を通じて、同じ町内に住む人同士、顔をつないでおく事は、非常時の安心感につながるはずで。今一度、町会の活動にご理解をいただければと思います。

はこぎき新聞編集部



中央区洪水ハザードマップ（抜粋）

避難場所  
 浸水深0.2～0.5m  
 浸水深0.5～1.0m  
 大雨の規模は  
 平成12年9月の  
 東海豪雨を想定

この文章を書いている今は連合渡御を目前に控えている所です。その前に宵の縁日、子供神輿もありプレッシャーに押しつぶされそうな状態ですが、仲間のお陰で何とか立っていられます。全てのお祭りが無事に終わられた時に最高の達成感を得られれば本望です。

箱崎睦会会長 眞野勇志



今夏は新浴衣で夏祭り（箱崎睦会直会）